

令和 6 年度授業改善推進プラン 教科名 英語科

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	・「話すこと」に関しては、意欲的に会話をする事ができているが、正確に話すことが課題である。 ・「書くこと」に関しても、書く意欲はあるが、正確性に課題がある。	・授業内での言語活動を充実させて、既習の文法事項を使う活動を計画的に行うことで、定着を図りたい。 ・パフォーマンステストを定期的に行うことで、生徒が抵抗なく発表できるように工夫する。 ○協同学習から生徒同士で高め合えるようにさせる。 ○自己表現において文法を考慮して自由に書けるように、授業の中で個別に助言しながら添削する機会を増やしたい。
2 年	・「聞くこと」に関しては、要点を押さえて聞くことができる生徒が多い。 ・「書くこと」に関しては、英作文をしようとする生徒が多いが、生徒間で力の差が大きくなっている。正確に書くことに課題が残る。	○各授業で、自己表現できる英作文問題に取り組ませる機会を作り、添削をしていくことで、正確に書く力を高めていきたい。 ・ペアワークを通して、生徒同士で学び合い、表現力を身に付けさせる。 ・高校入試も視野に入れ、聞く話す活動と読む書く活動を連動させて、トピックを決めて話したり書いたりさせる。
3 年	・「聞くこと」に関しては、要点を押さえて聞くことができる生徒が多い。 ・表現活動に関しては、意欲はあるが、基本的な語句や文法が身につけていないため、うまく表現できない生徒が多い。 ・「読むこと」に関しては、基本的な語句が定着していないため、まとまった量の文章が読めない生徒が見られる。	・グループワークを通して、生徒同士で学び合い、間違いを訂正する力を身に付けさせる。 ・高校入試も視野に入れ、話す活動と書く活動を連動させて、トピックを決めて話したり書いたりさせる。 ○授業内で、授業プリントなどを活用しながら、学習した事項を用いて書く機会を多く設ける。 ○授業内で、過去に学習した基本的な単語や文法をふりかえる時間を確保し、すべての活動の基本となる単語力を養う。

*すぐに取り組めることの前に○をつける